

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	人種化のプロセスとメカニズムに関する複合的研究
研究代表者	竹沢 泰子（京都大学・人文科学研究所・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は既に長年にわたって人種を主題として研究をリードし国際的な研究者ネットワークも形成し、一定の評価を得ている。初発の「人種の表象」では可視的な人種をめぐって主に欧米において植民地化の経験を背景に形成された人種表象が対象となった。しかしこうした「表象」研究は歴史的制約が強い。その反省に立って、人種概念の生成を「人種化」プロセスとして主題化し、今日の差別問題への批判的視点を構築するという志向は評価できる。日本・アジアと欧米という対比はやや単純であり、理論構築の方向と日本におけるゲノム研究との連関が理解しにくい点もあったが、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>